

## 2 アメリカ合衆国とベースボール

アメリカ人が「National Pastime ( 国民的娯楽 ) 」と誇らしげに呼ぶベースボールは、彼らにとってスポーツである以前に、自らが生み、自らが育てた文化そのものといえる。その結晶であるMLBは、アメリカ合衆国の気候や産業、国民性や歴史などを探ろうとする時、その典型的な一例として紹介できる。

### Home of Twins and Vikings

アメリカと一口に言っても、その広さは日本の25倍以上もあり、フロリダ州のようにスコールのある亜熱帯地方もあれば、冬はマイナス20度を超えるミネソタ州のような、厳冬の地方もある。MLB球団は米国各地にあり、そのホームスタジアムを見れば、その土地の気候が分かる。

今回訪問したミネソタ州のミネアポリスとセントポールの双子都市は、その名の通り「ミネソタツインズ」のフランチャイズである。カナダと隣接する寒さの厳しいこの地方ゆえ、ホームスタジアムはドーム型の球場となっている。東京ドームのモデルとなった「メトロドーム」である。アメリカンフットボールのプロチーム「ミネソタバイキングス」のホームスタジアムでもある。

米国各地のMLBスタジアムの特徴を調べることによって、アメリカの気候の多様性に気づくことができる。



【METRODOME】

MLBのスタジアムはボールパークと呼ばれる。どのボールパークにも個性があり、画一性を求めないアメリカ人の国民性を感じさせる。同時にボールパークには、様々なアトラクションがあり、野球というスポーツを見るだけの場所ではなく、アメリカ人にとっては、家族で楽しむ娯楽の場になっていることが分かる。

### Old-fashioned New Ball Park

2001年、サンフランシスコジャイアンツの本拠地が新しくなった。「パシフィックベルパーク」である。建てられたばかりにもかかわらず、この球場の右翼外野は古臭いレンガ造りの壁で、球場全体も左右非対称のいびつな形をしている。伝統の浅いアメリカだからこそ、球場の伝統的な形にはこだわりがある。浅い右翼スタンドの向こうには、サンフランシスコ湾が広がっており、海に飛び込むホームランボールを拾おうと、多くのカヌーが浮遊している。左翼スタンドの後方には、大きなグローブと清涼飲料水のボトルがある。このボトルの中は滑り台となっており、いつも子ども達でにぎわっている。



【Big slide & glove】

パシフィックベルパークの右翼外野席後方にあるサンフランシスコ湾に、水飛沫を上げてホームランボールを打ち込むジャイアンツの主砲バリー・ボンズは、73本というMLB年間最多ホームラン記録を持つ偉大な野球選手である。幼い頃からMLBでプレーすることを夢見ていた彼にとって、憧れのメジャーリーガーは、父親のボビー・ボンズと、そのチームメイトで名付け親でもあるウィリー・メイズであった。